

平成26年度地域の支え合い研修会アンケート結果について

1 日 時 平成26年12月19日（金） 午後1時30分～4時

2 場 所 松本市音楽文化ホール メインホール

3 参加者

522	人
-----	---

 (25年度401人 24年度576人 23年度250人)

5 参加申し込み者数

624 人		参加率 84%	
内訳	地区社協	95人	15%
	地区民児協	470人	75%
	地区ボランティア	39人	6%
	一般市民・行政	20人	3%

6 アンケート提出者

335	人	回答率	64%
-----	---	-----	-----

[25年度321人(80%) 24年度427人(74%) 23年度122人(49%)]

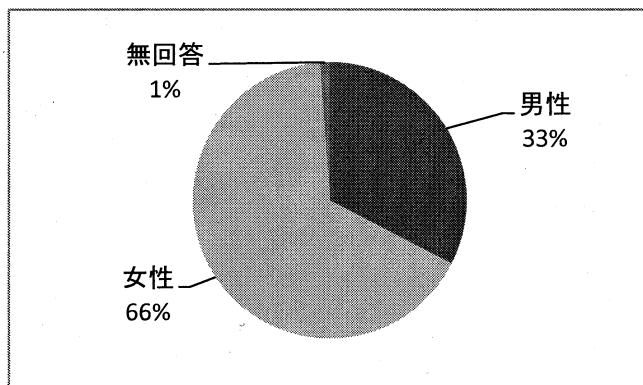
7 アンケート提出者の性別

男性	109 人	比率	33%
女性	222 人	比率	66%
無回答	4 人	比率	1%

〔女性年度別比率

25年度64% 24年度65%

23年度52%〕



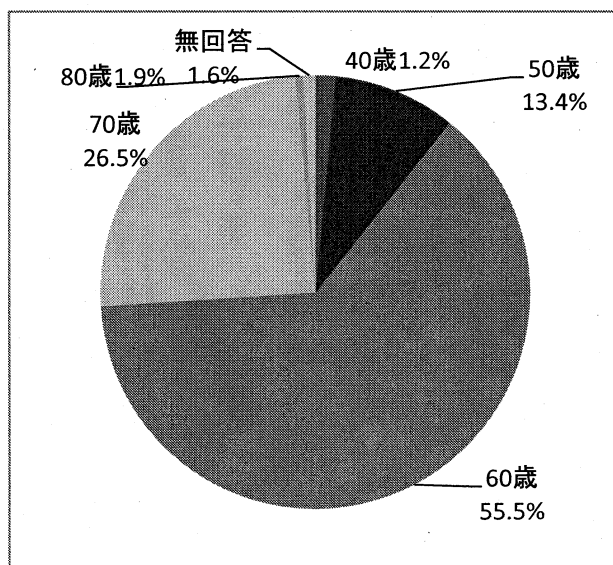
8 アンケート提出者の年齢層

20歳代	0 人	比率	0.0%
30歳代	0 人	比率	0.0%
40歳代	5 人	比率	1.5%
50歳代	31 人	比率	9.3%
60歳代	212 人	比率	63.3%
70歳代	82 人	比率	24.5%
80歳代	2 人	比率	0.6%
無回答	3 人	比率	0.9%

〔回答者別年齢層最高の比率

25年度60歳56% 24年度60歳56%

23年度60歳63%〕



9 アンケート提出者の地区

第一	4 人	率 1%	松南	9 人	率 3%	入山辺	4 人	率 1%
第二	9 人	率 3%	島内	12 人	率 4%	里山辺	9 人	率 3%
第三	12 人	率 4%	中山	7 人	率 2%	今井	7 人	率 2%
東部	4 人	率 1%	島立	10 人	率 3%	内田	2 人	率 1%
中央	6 人	率 2%	新村	5 人	率 1%	本郷	17 人	率 5%
城北	3 人	率 1%	和田	9 人	率 3%	松原	3 人	率 1%
安原	8 人	率 2%	神林	3 人	率 1%	四賀	6 人	率 2%
城東	5 人	率 1%	笹賀	18 人	率 5%	安曇	3 人	率 1%
白板	13 人	率 4%	芳川	17 人	率 5%	奈川	0 人	率 0%
田川	9 人	率 3%	寿	14 人	率 4%	梓川	17 人	率 5%
庄内	27 人	率 8%	寿台	9 人	率 3%	波田	24 人	率 7%
鎌田	19 人	率 6%	岡田	3 人	率 1%	無回答	8 人	率 2%

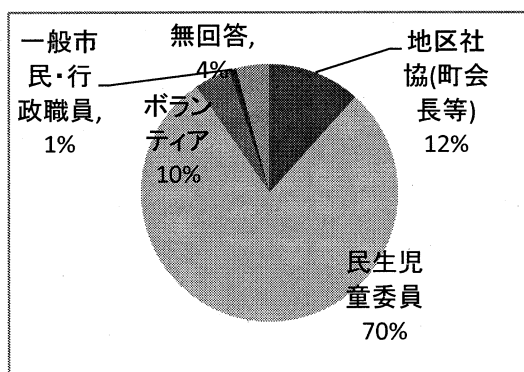
10 アンケート提出者の団体名

地区社協(町会長等)	39 人	比率 12%
民生児童委員	263 人	比率 79%
ボランティア	15 人	比率 4%
一般市民・行政職員	3 人	比率 1%
無回答	14 人	比率 4%

〔年度別回答団体の上位比率

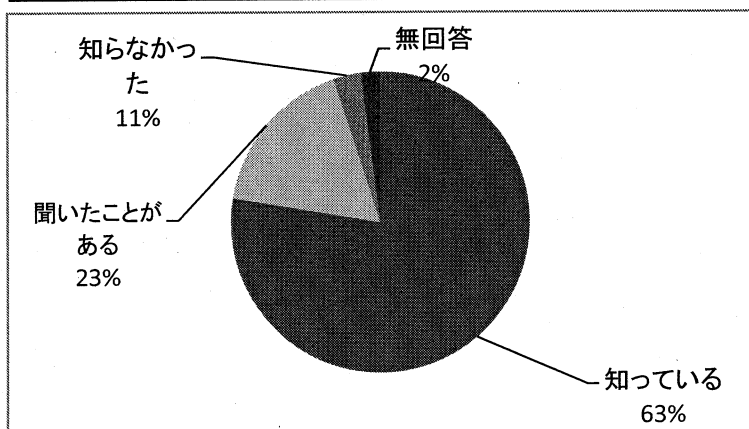
25年度民児協70% 24年度民児協79%

23年度民児協59%〕



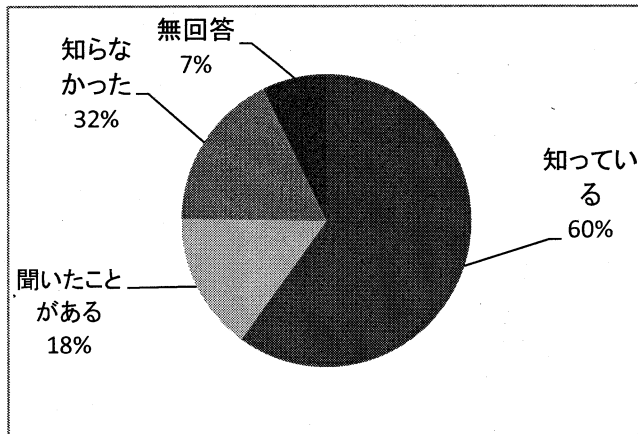
11 「見守り安心ネットワーク活動」について知っていますか。

26年度			25年度比率	24年度比率	23年度比率
知っている	260 人	78%	63%	78%	85%
聞いたことがある	58 人	17%	23%	14%	11%
知らなかった	10 人	3%	11%	3%	2%
無回答	7 人	2%			



12 地域や隣近所で「見守り安心ネットワーク活動」は行なわれていますか。

26年度			25年度比率	24年度比率	23年度比率
知っている	201 人	60%	45%	59%	62%
聞いたことがある	51 人	15%	18%	16%	24%
知らない	59 人	18%	32%	16%	10%
無回答	24 人	7%			



◇ [いる 聞いたことがある] と答えた方の活動概要

[高齢者等の活動]

- ・一人暮らし高齢者の方に対して隣近所の方が、声掛けをしています。
- ・一人暮らし高齢者の会食会を行なっている。
- ・一人暮らし高齢者を常日頃から見守りを行ない安否確認をしています。
- ・一人暮らし高齢者に声掛け活動を行なっています。
- ・一人暮らし高齢者、災害時要援護者等の家庭を見守り相談をしています。
- ・一人暮らし高齢者宅を民生児童委員が訪問し見守っています。
- ・一人暮らし高齢者に声を掛けて支援をしています。
- ・一人暮らし高齢者の体調や家の様子、新聞が溜まっていないか等見守りを行っています。
- ・一人暮らし高齢者を地域でチェックし見守り相談をしています。
- ・一人暮らし高齢者宅を定期的に訪問したり、災害時や大雪の時には声掛け活動を行なっています。
- ・一人暮らし高齢者の名簿を作成し、雪掻きや支援等見守り活動を行なっています。
- ・一人暮らし高齢者の健康状況を聴きに毎月訪問しています。
- ・一人暮らし高齢者を隣組の方々が、大雪や大雨の時に見守りを行なっています。
- ・隣近所において、朝新聞を取り込んだのか、夜電気が点いたのか。など、声を掛けたり、話相手になったりと安否確認しています。他にも玄関から道までの除雪も行なっています。
- ・高齢者の方への声掛けを行なっています。
- ・隣近所で、声掛けと支え合いを行なっています。
- ・高齢者の方の様子が普段と違う時には、連絡を貰うこととなっています。それから隣近所と情報交換を行っています。
- ・毎月、家庭を訪問しています。
- ・70歳以上一人暮らし高齢者宅を見守り、声掛け活動を行なっています。
- ・大雪が降った時や地震が発生した時に安否確認を行なっています。
- ・民生児童委員として一人暮らし高齢者を定期的に声掛けして、訪問しています。
- ・町会福祉部の方々が、高齢者の集まる機会を多く開いてもらい交流を深めたり、隣組

長が広報を配布する時に声掛けを行なっています。

- ・徘徊する方の見守りを包括支援センターが主導で、関係者が集まって話し合っています。
- ・民生児童委員の訪問活動の中で、町会長や隣近所の方から情報を得ながら一人暮らしの高齢者見守っています。
- ・民生児童委員、町会役員、PTA役員が別々の守備範囲で見守り活動を行なっています。
- ・民生児童委員が、一人暮らし高齢者家庭や老々家庭を見守っています。
- ・月に一度高齢者宅を訪問し、助け合い事業に参加されるようお話ししています。
- ・必要な時に、高齢者の方に対して対話したり面談をしています。
- ・民生児童委員と町会長が連携して、一人暮らし高齢者を訪問しています。
- ・民生児童委員による見守り活動と町会福祉部によるお楽しみ会、食事会、夏祭り、文化祭などを行なっています。
- ・民生児童委員が、一人暮らし高齢者の安否確認等を定期的に行っています。
- ・民生児童委員が毎月一人暮らし高齢者宅を訪問しています。
- ・月一回から二回民生児童委員が高齢者宅等を訪問しています。
- ・民生児童委員と賛助員の方が、月一回高齢者家庭を見守っています。
- ・民生児童委員、元民生児童委員、町会長で必要な情報を交換を行ない、ゴミ出し雪掻き等を行なっています。
- ・隣組、包括支援センター、公民館、福祉ひろば等で、いつもと違うことが起きた場合には、民生児童委員に連絡が入ります。民生児童委員は、関係各機関と相談協力して適切な対応を行っています。
- ・隣組長が名簿を作成して、見守り活動を行なっています。
- ・隣組長が回覧や資料配布の時に新聞等の取り忘れがないのか、異常がないのか。把握
- ・隣組4～5件でチームを組んで、高齢者等世帯に対して、声掛け、安否確認などの見守り活動を行っています。
- ・隣組単位での声掛けや見守り活動を行なっています。
- ・町会長と共に民生児童委員が、連携して見守活動を行っています。
- ・町会長、民生児童委員、隣組長が連携して情報収集を行なっています。
- ・町会長、公民館長等役員が、要援護者世帯へ災害時などに必要な安全確保の方法の説明と状況を調べています。
- ・町会長、包括支援センター、民生児童委員、医療で連携して地域を支えています。
- ・福祉ひろば、町会連合会、ボランティア、地区センターが中心となって見守り活動を行っています。
- ・高齢者家庭等を大雪や災害時に見守っています。
- ・75歳以上の一人暮らし高齢者宅を訪問し、困りごとなどの話し相手となっています。
- ・町会において、三世代交流を行なったり、75歳以上の一人暮らし高齢者に声を掛けたり安否確認を行なっています。
- ・地域では、町会長・日赤奉仕団・ボランティア部会・民生児童委員が情報交換を行なうと共に民生児童委員が、一人暮らし高齢者を見守っています。
- ・公民館でのサロン活動を行なっています。
- ・高齢者を交えて一カ月に一度お茶会を行なっています。
- ・茶話会を健康づくり推進員とボランティアで行なっています。
- ・いきいきサロン活動を行なっています。
- ・高齢者の家の新聞が溜まっていないか。カーテンが開閉されているのか。夜間に照明が点いているのか。などの見守りを隣近所の方が行っています。
- ・毎日、一人暮らし高齢者宅を訪問しています。
- ・高齢者のみの世帯と障害者のいる家庭を見守っています。

- ・ 65歳以上の一人暮らし高齢者、75歳以上の高齢者のみの世帯を毎月訪問し、話を聞いています。
- ・ 灯油配達業者が、70歳以上の一人暮らし高齢者の安否確認を行なっています。
- ・ 高齢者夫婦の食事支援をしている方がいます。
- ・ ヤクルトを持って毎月高齢者宅を訪問しています。
- ・ 高齢者宅の雪掻き、要援護者台帳と住民台帳を整備しています。
- ・ 地区社協の支援を受けて、民生児童員による友愛訪問活動を毎月実施しています。
- ・ ふれあい会食会の事業を通じて声掛け安否確認を行なっています。
- ・ 要援護者と一人暮らし高齢者の支援マップを作成しています。
- ・ 自分の地域に於いても第一地区と同じ活動が展開された。
- ・ 向こう三軒両隣で見守り活動を行なっています。

〔子ども関係の活動〕

- ・ 子供の見守り活動を行っています。
- ・ 子供の登下校時の見守り活動を行なっている。
- ・ 下校時に子どもを見守り、子育て支援のワンステップを毎月行っています。
- ・ 子どもを見守り、一声活動を行なっています。
- ・ 毎朝、子供達の通学時間帯に立って見守り、あいさつ運動を推進しています。
- ・ 子供の登下校時に合わせて町内の見守り活動を行っています。
- ・ 地域の10名で、小学生の登下校の見守りを行なっています。
- ・ 下校時にワッペンを貼って子どもの見守りを行なっています。
- ・ 田川小学校の見守り隊が見守りを行なっています。
- ・ 子供達の登下校の際に道路に立って見守っています。
- ・ 子供を見守る安心の家が活動しています。
- ・ 子供の登下校時に交通安全の確認を行なっています。
- ・ あいさつ子ども見守り隊を作って登下校の見守っています。
- ・ 児童の登下校時に声を掛けたり付き添いの活動を行なっています。
- ・ 赤ちゃん宅を訪問し声掛け、安否確認を行なっています。
- ・ 町会役員が育成会活動に参加するとともに文化祭、夏祭り、世代間交流にも参加しています。
- ・ 子供を見守り、登下校時に声掛けし、通学路の雪掻きを行なっています。
- ・ 学校応援団の方々が見守り活動しています。
- ・ 子供の安心安全を守る見守り隊や安心の家等を実施しています。

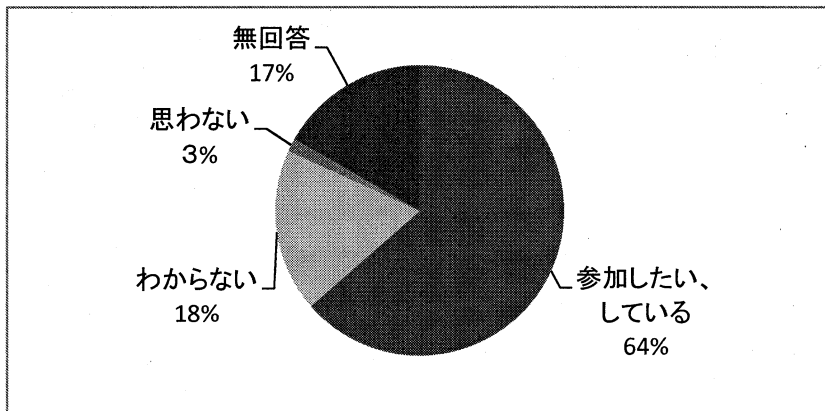
〔その他の活動〕

- ・ 災害時要援護者台帳を整備し情報を把握しています。
- ・ 災害時要援護者を主に見守り安心ネットワーク活動をおこなっています。
- ・ 防災会、隣組長と共に要援護者の見守りを行なっています。
- ・ 町会内部の仕組みを作り活動を進めています。
- ・ 隣組で情報を共有しています。
- ・ 要援護者の名簿を作成し、防災訓練の時に見守りを行なっています。
- ・ 町会長が、筆頭に年二回隣組単位で要援護者の状況を確認しています。
- ・ 要援護者を見守り、異変に気付いたら、関係機関と連携している。
- ・ 要援護者のリストや必要事項の入ったカードを配布したり、役員名簿を配布したり、高齢者との交流会等を開催しています。
- ・ 援護者が要援護者を定期的に訪問して、世間話をし様子を見守っています。
- ・ 一人暮らし、高齢者のみの世帯を訪問すると共に小学生等の登下校の見守りを行なっています。

- ・隣組単位で要援護者の支援に心掛けています。
- ・電話コール、配食サービス、小学生の見守り、支え合い活動等行っています。
- ・見守り隊による子ども達の見守りと民生児童委員による高齢者の見守っています。

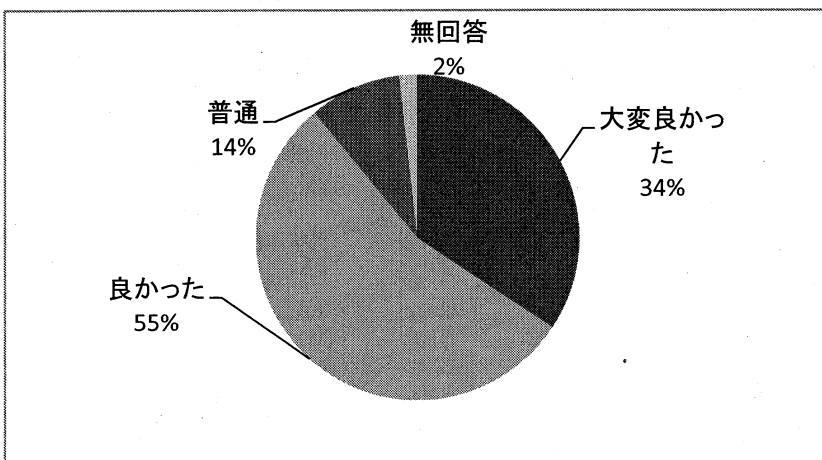
13 機会があったら「見守り安心ネットワーク活動」に参加してみたいですか。

26年度			25年度比率	24年度比率	23年度比率
参加したい、している	213 人	64%	55%	57%	77%
わからない	61 人	18%	26%	17%	16%
思わない	5 人	1%	2%	3%	2%
無回答	56 人	17%			



14 地域の支え合い研修会・民児協全体研修会の内容はいかがですか。

26年度			25年度比率	24年度比率
大変良かった	115 人	34%	23%	30%
良かった	183 人	55%	50%	52%
普通	31 人	9%	20%	9%
良くなかった	人	0%	2%	0%
全く良くなかった	人	0%	0%	0%
無回答	6 人	2%		



15 感想・意見など

〔研修会に参加して〕

- ・井上先生の講演を聞き、個人情報よりも人間関係を作ることの重要性を痛感しました。
- ・井上先生の進行と的確な質問の遣り取りに感動しました。
- ・いつになく有意義な研修でした。特に井上先生の適切なまとめが素晴らしいと感じました。
- ・井上先生の専門的なお話がとても良かったと思いました。
- ・井上先生の講演をゆっくりと聞きたいと思いました。
- ・井上先生の講演は身に迫るものがありました。
- ・井上先生の講演はとても参考になりました。
- ・井上先生の的確な指摘と自然に支え合える地域環境が増えるといいと思いました。
- ・実践活動事例が、とても参考になりましたが、自分達の地域で行なう時には、誰が主体的に行うのか疑問です。
- ・町会が目的を持って活動することが大切であることを感じました。
- ・町会が明確な目的を持って取り組むことが必要であると感じました。
- ・何かあった時には、一人で悩まずに仲間や行政などの専門家の方と連携が、大切だと感じました。
- ・安心ファイルは、防災の取り組みに良いアイデアだと思いました。
- ・一人暮らし高齢者が安心して生活ができる地域社会を作りたいと感じました。
- ・隣近所のお付き合いを大切に地域づくりを進めたいです。
- ・中町の活動事例を聞いて大変参考になりました。
- ・他地域の情報を研修することで、活動の参考になりました。
- ・地域によって様々な状況ではありますが、継続していくことは、困難な時に楽しく取り組んでいきたいと思います。
- ・実践活動事例が、とても分かりやすく良く理解できました。
- ・行政との連携の仕方、参加者を増やす方法など参考になったので取り入れて行きたいです。
- ・いろいろな行事を行なうのは大変ですが、楽しみながら行っていることは、素晴らしいと思いました。
- ・自分達の町でも実践したいです。
- ・先頭に立つ人で進行状態が変わってくると感じました。
- ・安心ファイルを作成し、見える所につるしておくことが良かったと思いました。
- ・高齢者の増加と共に一人暮らし、高齢者のみの世帯も増加しますので、発表の内容を町会に提案していきたいと思います。
- ・町会役員のネットワークは、できていますが、地域住民のネットワークが必要だと感じました。
- ・町会役員が研修していいましたが、地域住民の意識調査の必要があると感じました。
- ・居酒屋の費用を公民館で負担して行っていることは、疑問があると感じました。
- ・個人情報の問題を突破できるのは、人間関係づくりであることを研修しました。
- ・いろいろ参考になったので、今後の地域づくりに活かしていきたいと思いました。
- ・他の地域の町会の方々の取り組みを聞けて良かったです。
- ・はっきりとした言葉遣いで、身近な問題を分かりやすく説明されて良かったです。
- ・誰が主体的に進めているのか分からなかったです。
- ・良い話を聞いて、自分の役割、立場を認識したので、活動に取り入れて行きたいと感じました。
- ・各地域で様々な取り組みを行なっていることが分かりました。
- ・楽しみながら活動することで長続きのされていると感じました。

- ・活動事例発表が、地域に密着された活動でしたので活動内容が参考になりました。
- ・基調説明がとても参考になりました。
- ・組織で活動するよりも個人的につながった方が現実的ではないかと思いました。
- ・活動をすると守秘義務の壁にぶつかり難しいと感じています。
- ・楽しんで喜んで活動していることに驚きました。苦勞とならない方法で、活動を行ないたいと思います。
- ・素晴らしい活動でした。
- ・地域全体で取り組んでいる素晴らしい活動でしたので、理想として活動して行きたいです。
- ・安心ファイルを作りたいと感じました。
- ・支援活動は、個々の単位では難しいので、ネットワーク活動が必要だと思います。
- ・福祉ひろば、公民館を中心に見守り活動を行なっていますが、町会単位で行なっていることに感心しました。
- ・実践活動発表がとても分かりやすく勉強になりました。
- ・隣近所との日常のお付き合いの大切さを感じました。
- ・支援する側が、楽しんで遣ることが大事だと思います。
- ・町会ごとに違いがあることを感じました。
- ・二町会とも素晴らしい活動発表でした。
- ・第一地区の活動事例を聞いて、町会長、民生児童委員、公民館長、健康づくり推進員等、横のつながりが必要な人は全員参加することが望ましいと感じました。
- ・安心ファイルは大変参考になり、地域住民と町会役員とのコミュニケーションが取れているように感じました。
- ・第一地区の発表のように点から面への支援がでたらよいと考えています。
- ・個人情報の問題として、町会としてオープンにできないことが、多いと感じています。
- ・住民が顔を併せて話し合っ、課題解決が図れば良いと思いました。
- ・二美町2丁目町会の子ども会行事への関わり方を基に三世代交流ができてくれば、素晴らしいと思いました。
- ・町会が主となって見守りネットワーク活動を推進することが大切であると思いました。
- ・今回の基調説明の内容を町会長や民生児童委員が、地域住民に対して行なって欲しいと思います。
- ・地域づくりの参考になりました。
- ・ボランティアへの期待が大きすぎると感じました。
- ・個人情報は何をするにも壁になってしまい、人間関係を作ることが難しくなっています。
- ・町づくりには、人と人との絆を大切に皆が参加できる体制づくりから始めたいと感じました。
- ・65歳以上の高齢者や一人暮らしの方の雪掻き等見守りを行なっていきたいし、今日の研修で、子供の見守り活動も必要であると思ったので、いろいろと充実させていく必要を感じました。
- ・中心となって町会づくりを進める町会長の参加が少なかったと思いました。
- ・町会未加入者への働き掛けが難しいです。
- ・隣近所の助け合いには、個人情報がネックになると感じました。
- ・見守り活動は、民生委員だけではなく、町会全体で行う必要があると思います。
- ・町会長と公民館長と話し合う機会がなく、見守りが民生児童委員のみで行なっています。
- ・活動事例が身近な問題で、情報を取り入れることが地域に役立つと感じました。
- ・町会役員が集まり話し合いを行なうが、プライバシー保護の問題があり、皆に知らせていいのか困っています。

- ・横のつながりを大切に、話し合いを持つ機会を活かしていきたいと思いました。
- ・気になる方がいるが、一人で抱え込まずに社協と連絡をとりたいと思います。
- ・日常生活での知識を基に、新たな発見することが大切だと感じました。
- ・日頃から情報を得るアンテナを張っていないといけないと感じました。
- ・2つの町会とも住民が心をつなげて町会の為に取り組んでいることが素晴らしいと思った。
- ・地域のつながりが希薄なことを痛感しました。
- ・高齢化の進行に伴い隣組のさり気無い見守りが必要となってくると感じます。
- ・町会長、町会役員が福祉活動に関心を持っていないので、一緒に考えて欲しいと思います。
- ・安心ファイルが全戸に配布されていればとても心強いと思います。
- ・町会長と公民館長との連携が難しいと感じました。
- ・身近な見守り隊が必要だと思いました。
- ・自分達の地域でも活動したいが、立ち上げの協力者や賛同者を得ることが難しいと思います。
- ・絆の大切さと人間関係を築くことが必要だと感じました。
- ・情報提供がいかに大切なのかを感じました。
- ・いろいろな活動を行なうことで、情報収集となり好循環ととなっていると感じました。
- ・町会と民生児童委員との連携が上手くいかない為、若い世代の参加が難しくなっています。
- ・町会活動に意識の低い住民に対する活動事例があればと思いました。
- ・一人暮らし高齢者の情報を共有し、お互いのチームの人達との連携が上手くいっていると思います。
- ・町会長、町会役員の意識が低いので、研修を受けてほしいと思いました。
- ・介護は、まず最初に家族と子供たちではないかと思いました。
- ・実践を積み重ねることが、制度を越えた人間関係を気付くことへとつながると感じました。
- ・見守り安心ネットワークは、それぞれの立場での関わりが大切なので、説明して欲しいと思いました。
- ・先進的活動を聞くことができて良かったので、次へ引き継いでいきたいと思います。
- ・町会関係機関との連携や地域のあり方について参考にして行きたいと思います。
- ・困っている事を話せる雰囲気をつくり、解決していくことが大切であると感じました。
- ・町会未加入者の方々も一緒になって地域づくりを行なって欲しいと思います。
- ・理想的な成功事例でとても参考になり、行動を起こす事が大切だと感じました。
- ・地域の方々と共に困りごとを発見するアンテナを張り巡らすことが、大切だと感じました。
- ・核家族化が進み、一人暮らし高齢者が増加していますので、隣近所の助け合いが必要となると感じました。
- ・見守り安心ネットワーク活動は、町会役員や民生児童委員が行う傾向にありますが、地域住民の意識を高め全員で行うことが必要であると思います。
- ・年間行事が決まっていると予定が立てられて活動に参加しやすいと思います。
- ・いろいろな地域の見守り活動を研修したいと思います。
- ・地域活動への意識向上となる研修会でした。
- ・事例発表内容の豊富さに驚き、今後の活動で町会として行ないたいと思います。

〔運営面での意見〕

- ・年々活動が発展し素晴らしい研修会でした。
- ・活動事例発表から全体へ広げて行く方法が有意義であった。

- ・今回の集まった意見を広報で周知して欲しいと思います。
- ・今回の内容は、町会長や公民館長が参加した方が良かったと思います。
- ・研修会への町会長、副町会長、公民館長の出席が少ないので、参加を希望します。
- ・定例の町会長会と重なり手分けして参加していることもあり、開催時期を検討して欲しいと思います。
- ・会場内のエコーがききすぎて高齢者には、聴きにくかった。
- ・とても良い研修会ではあったが、時間を守ってほしい。
- ・研修会の時期を考えてほしい。

〔その他〕

- ・町会が2つの学校に分かれているため町会行事など問題が出てます。
- ・少子高齢化社会で、役員の選出が課題です。
- ・家庭環境の崩壊が、根本的な問題で解決しなければならないと感じます。
- ・毎月、簡単な配布物があれば、高齢者宅へ訪問しやすいと思います。
- ・先だって事をするの大変さ、難しさを感じました。
- ・町会が、商業地域で少子高齢化が進み町会活動への参加者も少なく、同じ方が参加しています。
- ・民生児童委員活動において、何が出来るのかを常に考えて行動したいと思います。
- ・一人暮らし高齢者を支える子供達は、町会に協力すべきであると思います。
- ・新旧役員の交代の時には、どのように引き継いだらよいのでしょうか。

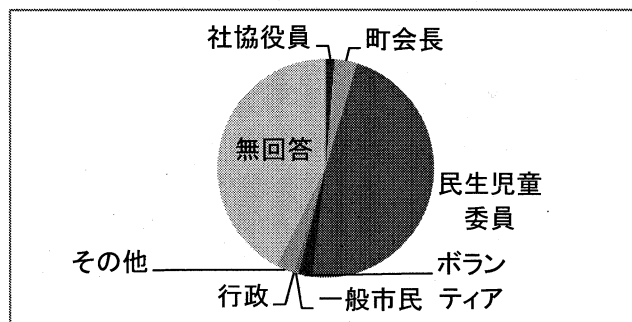
平成26年度「地域の支え合い研修会」
実践活動発表等に対する問いのまとめ

1. 日時 平成26年12月19日(金) 午後1時30分～4時
2. 場所 音楽文化ホール メインホール
3. 参加人数 522 人
4. 質問者
 - (1) 質問者数 148 人
 - (2) 地域別質問者数

第一	0 人	率 0%	松南	4 人	率 3%	入山辺	0 人	率 0%
第二	2 人	率 1%	島内	6 人	率 4%	里山辺	3 人	率 2%
第三	6 人	率 4%	中山	4 人	率 3%	今井	4 人	率 3%
東部	0 人	率 0%	島立	3 人	率 2%	内田	0 人	率 0%
中央	1 人	率 1%	新村	1 人	率 1%	本郷	9 人	率 6%
城北	1 人	率 1%	和田	3 人	率 2%	松原	2 人	率 1%
安原	3 人	率 2%	神林	2 人	率 1%	四賀	0 人	率 0%
城東	1 人	率 1%	笹賀	6 人	率 4%	安曇	1 人	率 1%
白板	5 人	率 3%	芳川	6 人	率 4%	奈川	0 人	率 0%
田川	1 人	率 1%	寿	9 人	率 6%	梓川	6 人	率 4%
庄内	11 人	率 7%	寿台	3 人	率 2%	波田	6 人	率 4%
鎌田	5 人	率 3%	岡田	0 人	率 0%	無回答	34 人	率 23%

5. 団体名

社協役員	2	人	比率	1.4%
町会長	5	人	比率	3.4%
民生児童委員	70	人	比率	47.3%
ボランティア	3	人	比率	2.0%
一般市民	1	人	比率	0.7%
行政	0	人	比率	0.0%
その他	4	人	比率	2.7%
無回答	63	人	比率	42.6%



○その他 福祉の地域づくり協議会、地域包括支援づくりセンター
支え合い委員会

6. 質問の提供割合 28% (参加者に占める割合)

質問と回答

- 1 2つの実践活動報告を聞いて、「ここが素晴らしい」と評価する点がありましたか？「評価できるところ」を具体的に指摘し、どうして高く評価されたのか、あなたのご意見をおかきください。

(良いと思ったこと)

○中町三丁目町会

- ・町会長、民生児童委員、地域包括センター、医療機関、家族、ケアマネージャー、ヘルパー等の関係者が、一堂に会して支援会議を開催し、ネットワークを立ち上げています。
- ・町会長と地域包括センターが、連携を密にしています。
- ・町会の課題対策に町会長が中心となり連携を図っています。
- ・町会長が、リーダーシップを発揮し関係する支援者が集まり共通の情報を確認し支援会議を実施しています。
- ・町会長を軸に見守り安心ネットワークの連携が、密にできています。
- ・町会長が問題意識を持って率先して、点から面の支援行動しています。
- ・関係機関がすぐに集まり対策会議を行なっています。
- ・一人の要援護者に対して、行政・福祉・地域・家族等の多くの関係者が、横の連携をつくり話し合う機会ができています。
- ・認知症高齢者が増加する中で、町会長、民生児童委員、関係団体との連携ができています。
- ・関係者が一堂に会して、困りごとなどの情報を共有して解決の方法を話し合っています。
- ・皆で困りごとを支援することを考え、一歩踏み出しています。
- ・見守り活動が、点から面に広がっています。
- ・見守り安心ネットワークが機能し、支援体制が整っている。

- ・要援護者を地域、町会、隣近所で見守る支援体制ができています。
- ・個人情報の問題を解決できる、関係づくりが出来ています。
- ・認知症の方を支えるために、地域の医療機関、福祉関係者が連携する支援体制が整っています。
- ・認知症の方の為に、多くの人々がスムーズに関わっています。
- ・隣近所の協力、支援体制ができています。
- ・地域、町会に連携ができています。
- ・町会長と民生児童委員との関係が密にできています。
- ・町会長と民生児童委員が連絡を取り合って包括支援センターに気軽に相談できる仕組みが整っています。
- ・身近な困りごとを一つ一つ解決し、積み重ねています。

○二美町2丁目町会

- ・きめ細やかな安心ファイルを作成し、全戸に配布して活用されています。
- ・安心ファイルに要援護者のマップが付いています。
- ・安心ファイルの情報開示の承諾率が高いことです。
- ・安心ファイルの作成に当たってアンケートを取って理解を得たことです。
- ・安心ファイルが色分けされ見やすくなっています。
- ・安心ファイルに様々な必要事項が詰まり、見やすくなっています。
- ・安心ファイルが出来までの経過と、それを作るまでの町会の皆さんの協力関係分かりやすかった。
- ・安心ファイルが細部まで詳しく整理されています。
- ・安心ファイルの内容を、町民の要求に合わせて充実させている。
- ・安心ファイルの内容の豊富さに感心しました。
- ・安心ファイルが全戸配布されていることで、安心できます。
- ・安心ファイルは、具体的内容が分かりやすく記載されていた。
- ・安心ファイルは、困った時に情報提供が出来るファイルとなっています。
- ・安心安全に暮らすために見守る手段として安心ファイルの全戸配布が良かったです。
- ・安心ファイルがきめ細やかに作成されていて素晴らしかった。
- ・災害時要援護者の情報開示を承諾した方が多かったことに驚きました。
- ・個人情報の管理が難しい中、町会全体にファイルを配布している。
- ・全戸配布の安心ファイルが見やすく、災害時にも活用しやすいそうです。
- ・事前に情報を開示するための承諾書の取得が整っています。
- ・公民館活動が活発で、皆が理想とする安心ファイルを作っています。
- ・町内全員が支援の共有ができています。
- ・全世帯からの安心ファイルを作成することで、防災に対する意識が高まっています。
- ・居酒屋よってけやを行なうことで、男性の支援者を集めることに取り組んでいます。
- ・男性が地域の活動に参加しやすい「居酒屋」行事は素晴らしいことだと思います。
- ・居酒屋や健康教室を続けています。
- ・居酒屋は、公民館に人々が集まる機会を増やし、顔つなぎを強くできると思います。
- ・町会と公民館の福祉活動で、子どもの見守りを行なっています。
- ・こどもを守る安心の家のマップ完備されています。
- ・子ども達の安全と子育ての支援について地域で取り組んでいます。
- ・自分達の生活を自分達で守っていく姿勢が町会に根付いています。
- ・行事へ参加するボランティアのつながりが強くなっています。
- ・子どもの見回りの中で、安全サポーターの活動が素晴らしかった。
- ・町内の活動を多くすることで、町民同志のつながりが強くなっています。
- ・高齢者に対して、速やかに隣近所の人、組長等が、支援できる体制が整っています。
- ・町会役員の任期が長く、地域に密着した活動を行なうレベルアップ体制が整っています。
- ・町会役員の方々を取りまとめて、町会長がリーダーシップ発揮されている。
- ・町会長の長年にわたる発想の豊かさが、成果とし現れています。
- ・町会の人が集まる機会が工夫されていることで、絆が強まり緊急時に役立っています。
- ・町会住民の意識が高く、楽しく福祉活動を行なっています。
- ・町づくりを公民館活動として位置づけて盛り上げています。
- ・要援護者マップが整備されています。
- ・隣組の助け合い体制が明確化しています。
- ・地域が目指す姿が明確なため、住民の心が一つとなり、様々な活動へと発展しています。
- ・福祉課題について、世代を超えて活動しています。

- ・リーダーの素晴らしい発想で進め、それを協力支援する体制も整っています。
- ・地域、町会の安全安心を築くために、町会が主導して地域住民を巻き込んで、各種活動に取り組んでいます。
- ・元気に明るく誰にでも挨拶ができることは、子供達にも良い手本なっています。
- ・向こう三軒両隣りが、お互いに見守っています。
- ・安心ボランティアを立ち上げています。
- ・町会が、抱えている課題を把握するとともに課題を解決しながら、新しい方法を検討しています。
- ・活発な公民館活動を進めています。
- ・町会が一つにまとまっています。
- ・地域の見守りがファイルに凝縮されている。
- ・災害時のみならず普段から見守りにファイルが効果的である。
- ・いろいろと楽しい企画を実行する事で、引きこもりが防げている。
- ・見守りの単位を5人としたことは、まとめ易く行動し易いのではないか。
- ・細部の部分にまでわたって確認された心の通った活動に感動しました。
- ・要援護者情報開示承諾書、要援護者マップ、隣組の助け合いの体制が素晴らしかった。

○共通

- ・地区住民の団結の強さを感じました。
- ・地域包括ケア会議を積極的に推進されていました。
- ・町会長、町会役員が、地域の支え合いに関心を持ち深く関わっていました。
- ・町会がまとまり、楽しく活動するボランティアという考え方が良かった。
- ・町会全体の福祉に対する考え方が良かった。
- ・地域の皆さんが理解されて活動しているので、地域のつながりが出来ていて素晴らしい。
- ・個々で別々に支援するよりも、関係者が集まって話し合って支援していることが良かった。

2 2つの実践活動報告を聞いて、「自分たちの地域でも取り組みたい」と思ったことがありますか？
「自分たちの地域でも取り組みたいところ」を具体的に指摘してください。また、それを実現するために解決しなければならない課題はなにですか。具体的に教えてください。

(自分達が行う時に何が難しいのか)

- ・福祉ひろばとの連携を良くしていきたいです。
- ・課題を抱えている方の支援会議を開催したいです。
- ・町会の世帯数が多いので、全体の把握が難しいです。
- ・最初は、丁寧に台帳を作成しても次第に移動があって書き直しが難しくなっています。
- ・町づくりには、先立ちの方が必要なもので、誰が先に立つのかが重要です。
- ・公民館活動に参加したいが、公民館が遠く送迎をボランティアだけに依頼することは難しいです。
- ・認知症の方々の見守りのために様々な方々が一堂に集い話し合うことが重要だと思います。
- ・町会未加入者に対する対応をどうするのが難しいです。
- ・町会未加入者が多く役員の成り手がいないため、町会業務が多すぎる町会活動が進まない状況です。
- ・安心ファイルの作成に当たり、古くから住んでいる方と新しく暮らし始めた方との温度差があります。
- ・安心ファイルを実施するためのアンケートが難しい状況です。
- ・安心ファイルの作成後の継続的な取り組みが必要です。
- ・安心ファイルを作成したいです。
- ・安心ファイル作成への住民の同意が難しいです。
- ・安心ファイルの様なファイルをきちんと作りたいが、組長まで図るのが難しい状況です。
- ・防災時にも安心ファイルは、細かい事項が明記されて役立つので、町会としても取り入れたいが、一戸一戸の理解を得ることが難しいです。
- ・町づくりを支援協力いただくボランティアの確保が難しいです。
- ・町づくりを誰が中心となり、音頭を取って取りまとめるのかかが難しいです。
- ・町会活動・行事への担い手として若者が参加しないため、構成委員が高齢化し町会の活動・行事が広がっていかないことが難しいです。
- ・個人情報保護と町づくりのための情報共有の両立が難しいです。
- ・個人情報の弊害により防災マップの作成が難しいです。
- ・個人情報を町内でどの程度共有して良いのか難しいです。
- ・個人情報を保護するあまりに民生児童委員の中で解決しようとしています。

- ・個人情報等の問題があり、町会づくりが進んでいない状況があります。
- ・個人情報の保護がネックとなり町づくりが進まない状況です。
- ・個人情報等の保護により要援護者を地域で把握することが難しい状況です。
- ・見守り安心ネットワークの会議を包括指導で開催しているが、個人情報に広がり悪用されないか心配な状況にあります。
- ・プライバシー保護(個人情報保護)の観点から災害時要援護者台帳を隣組へ提供できない状況にあります。
- ・個人情報等の問題で協力しない方がいる状況です。
- ・個人情報を保護のために情報を知ることは難しいので、町会役員と一緒に世帯ごとに行動することが必要であります。
- ・誰が、どの機関と連携して行っていくのか事前に決めておく必要がある。
- ・ふれあい活動を企画して行っているが、参加者が固定しているため、参加しない人をどのように参加してもらうかを検討する必要があります。
- ・隣組長と民生児童委員との話し合いが不足しています。
- ・町会には様々な生活課題を支える体制が必要であります。
- ・町会長、民生児童委員などの協力体制を整備する必要があります。
- ・要援護者の見守りは、災害時の対応へとつながるので、見守り体制が必要であります。
- ・民生児童委員として一人で課題を抱えていることに負担を感じているので、包括・ケアマネ・医療との連携が必要であります。
- ・要援護者名簿と安心ファイルの一体化が難しいので、検討が必要であります。
- ・心配な人がいますが、本人が、拒絶する中で支援が進まないため、本人の心を解きほぐすことを考える必要があります。
- ・子どもを守る安心の家を作ることが難しい状況にあります。
- ・防災と福祉を結びつけることがなかなか難しい状況にあります。
- ・要援護者の方々を複数で見守る体制づくりが進まない地域であります。
- ・町会福祉活動を先頭に立って推進する人材が不足しています。
- ・安心ファイルは良いファイルですが、町会が大きいので住民の承諾が出来ない状況にあります。
- ・まちづくりを進めるには、町会全体の意識の改革が必要です。
- ・地域住民の意識改革が必要で、ボランティアの気持ちを皆が持ってくれると良いと思います。
- ・町づくりには、新たな行事を行なうことが必要ですが、賛同者がいない状況です。
- ・町会全体で問題意識を持つことができません。
- ・見守り安心ネットワーク活動を地域包括支援センターと密に連携して行ってきたが、現在はネットワーク体制が整わない状況にあります。
- ・町づくりを進めたいが、組長も関心を持ってもらえない状況です。
- ・安心ファイルを導入したいが、町会の進展を図りたいが強力なリーダーシップがいない状況です。
- ・町会を構成するには、転勤家族もあり住民基本台帳が必要です。
- ・カラオケ大会や居酒屋等でコミュニケーションを図ることは、良いことですが、いろいろな考えがあり、実現には、工夫が必要です。
- ・町会役員と地域住民との信頼関係を築くのに時間が掛かり、組単位で進めることも難しい状況です。
- ・地域づくりを進めるための町会行事を行いたい、町会に財政がない状況です。
- ・地域のつながりを進めたいが、昼間と夜で人の流れが変わり、地域の交流が進まないため、地域づくりを進めるいろいろな行事を計画しても役員しか参加しない状況です。
- ・関係者が集まって支援ネットワークを構築し、情報の共有化を図りたいです。
- ・ひとり暮らし高齢者宅を訪問し悩み事を聞き取りたいです。
- ・民生児童委員と町会のまとまりが悪いので、徐々に町会役員と話し合いを進めるところです。
- ・見守り安心ネットワーク体制を構築と思っています。
- ・町会内にアパートが、急増したため住民を把握が難しいです。
- ・町会役員と隣組長が協力し隣組助け合い体制を作成することです。
- ・福祉のまちづくりを実行するには、経費が掛かり財源が不足しています。
- ・町会が団結して町会福祉活動に当たる事が必要であります。
- ・地域づくりを継続するためのネットワーク体制をサポートしていくことが町会には難しいことです。

3 2つの実践活動報告に対して、何かご質問はありませんか？

(質問)

○中町三丁目町会

- ・会議の内容はどのように記録しているのでしょうか。
- ・隣組長や隣近所の人への協力依頼はどうなっているのですか。
- ・ボランティアの方々の役割と人数を知りたいです。
- ・普段から見守りを行なっている民生児童委員と町会長や包括との連携どのように行っているのか知りたいです。
- ・認知症とはいえ本人の意思や感情が見えないがどうなっているのでしょうか。
- ・近親者との連絡方法どうしているのですか。
- ・町会で把握できない町民への働き掛けはどのように工夫しているのですか。
- ・各機関が目指すものが、同じとは限らないので、具体的な内容を説明していただきたい。
- ・一度の支援会議では、理解が深まらないと思いますが、熱意をどうすれば高めて行けるのでしょうか。
- ・認知症の家族が何処まで情報を町会に提供することは難しいと思うのですが。
- ・個人の病気のことを他の方に話して良いのか疑問ですが。
- ・活動を継続するための工夫は何ですか。
- ・個人情報共有する範囲はどこまでにすればよいのでしょうか。
- ・認知症方との二人暮らしで、近所の方も心配していますが、話に伺っても入れてもらえないので、認知症の家族とどのように接しているのでしょうか。

○二美町2丁目町会

- ・町会役員が、交代する際にスムーズに引き継ぎでき継続がされているのでしょうか。
- ・町会役員が交代しても継続可能なシステムでしょうか。
- ・町会役員の任期は、何年ですか。
- ・組長等の任期は短いと思いますが、先に立つ方はずっと同じ方で行っているのでしょうか。
- ・市の災害時要援護者登録制度の登録は100%できているのでしょうか。
- ・安心ファイルの見直しは、年何回されているのでしょうか。
- ・安心ファイルを配布することは、町会役員にとって大変ですが、皆の理解が得られているのでしょうか。
- ・安心ファイルは全世帯に必要なのでしょうか。
- ・安心ファイルの更新は大変だと思いますが、転入・転出などの変更はどのようにしているのでしょうか。
- ・安心ファイルの回収はどのくらいできたのでしょうか。
- ・安心ファイルは、個人情報満載で災害時にも役立ちますが、情報の悪用が心配ではないでしょうか。
- ・安心ファイルの守秘義務はどうなっているのでしょうか。
- ・安心ファイルへの反対はどのようなものがあつたのでしょうか。
- ・安心ファイルの内容を作成した経過と方法を教えていただけないでしょうか。
- ・安心ファイルの内容が多方面に渡っているので、行政等関係者との関わりについて教えていただけないでしょうか。
- ・ひとり暮らし高齢者宅を訪問時に、安心ファイルに記載されていない事柄への対応で困ったことはないのでしょうか。
- ・安心ファイルの開示を承諾しなかった方への取扱はどうなっているのでしょうか。
- ・安心ファイルを全戸配布するに当たり、どのような主守秘義務が設定いされているのでしょうか。
- ・救急キットと重複する部分がありますが、安心ファイルは別に考えて行っているのでしょうか。
- ・情報の内容を検討する方法はどうなっているのでしょうか。
- ・町会役員やボランティアを行なう人は、沢山いて協力的なのでしょうか。
- ・いろいろ行ってみたいが、ボランティアに頼むことをためらってしまうことはないでしょうか。
- ・町会の皆さんが協力し、まとまるまでのノーハウが知りたいのですが。
- ・見守り掲示板はどこに設置してあるのか。また、誰が張り替えるのでしょうか。
- ・子ども安全サポーターの掲示の入れ替えは誰が行っているのでしょうか。
- ・子ども安全サポーターの掲示板はどこに掲示してあるのでしょうか。
- ・安全サポートを掲示して活動しているのは誰ですか。
- ・中心となった方々の年齢構成はどうなっていますか。また、男女比はどうでしょうか。
- ・町会行事が多く役員の引き受けないのでは、いるのでしょうか。
- ・機密保持義務の取り扱いを全戸で理解しているのでしょうか。
- ・行政からの各種支援や助成は、すべて利用しているのでしょうか。
- ・町会の役員体制、分担を参考にしたいので教えていただけないでしょうか。
- ・個人情報保護への抵抗は無いのでしょうか。

- ・いろいろと企画して実施していますが、活動にどの程度の地域住民が参加しているのでしょうか。
- ・幾つもの活動を実施していますが、出席された方々の年齢構成や対象者との割合はどうなっているのでしょうか。
- ・町会内の居酒屋からの苦情はないのでしょうか。
- ・個々の家族構成を承諾を得て書類に作成しているのでしょうか。
- ・様々な活動を継続させるための財源は何ですか。(財源のために町会費をアップしているのでしょうか。)
- ・町会活動を行っている方の構成メンバーは、どのようになっていますか。
- ・何が切っ掛けとなって、ここまで取り組みが続いているのでしょうか。
- ・町会か公民館か、どちらが主力で活動を進めてきたのでしょうか。
- ・沢山の取り組みを行なっているが、どれくらいの人に関わっているのでしょうか。
- ・役員の後任者への引継ぎが、スムーズに出来ているのでしょうか。
- ・町会未加入者への対応はどのように行っているのでしょうか。
- ・町会活動と福祉ひろばの活動との兼合いはどうなっているのでしょうか。
- ・取り組む役員の確保や持続の体制をどうなっているのでしょうか。
- ・持家と公営住宅入居者との共用の取り方に違いはあるのでしょうか。
- ・町会長と民生児童委員の意見を教えていただきたいのですが。
- ・カラオケサロンの参加者は固定していますか。
- ・二美町2丁目町会の活動は、素晴らしいが、町会の組織と人とチームワークに課題がありますか。
- ・始めに提案した人は、どのような立場の人だったのでしょうか。

○共通

- ・町内行事への参加案内の声掛けはどうなっているのでしょうか。
- ・沢山の人を集める工夫はどうしているのでしょうか。
- ・民生児童委員として、どこまで関わって良いのでしょうか。
- ・新しい活動を行うと反対があり進まないと思いますが、どのように対処しているのでしょうか。
- ・事業を継続していくコツは何かあるのか教えていただけませんか。
- ・情報を収集する方法は何か、良いのでしょうか。
- ・個人情報取り扱いが難しいと思いますが、どの様にしているのでしょうか。
- ・活動を実行する時に負担と感ずる方は、ボランティア精神で事に当たっているのでしょうか。
- ・高齢者福祉対策について、地域としてどうすべきかの話し合いがなされているのでしょうか。
- ・高齢者に対する気遣いの方法はどのようになっているのか。

4 あなたが、住み慣れた地域で生活を続けていくためには、地域の課題は何があるとお考えですか。

(今後のことについて、課題)

- ・支え合いの大切さを地域の方々に分かってもらいにくいことです。
- ・横の連携がなかなかできずに難しいことです。
- ・町会役員やボランティアを行なう人が少ないことです。
- ・隣組の付き合いを密にすることが希薄になっていることが課題となっていることです。
- ・地域の中が一つにまとまらないことです。
- ・住民同志のコミュニケーションが希薄で、アパートに誰が住んでいるのか分からないことです。
- ・隣組の支え合い、声掛けが希薄になっていることです。
- ・支え合いを希望しない人が増えていることです。
- ・地域の福祉活動、生きがい学習等への参加希望が減っていることです。
- ・人と人とのつながりが希薄化していることです。
- ・マンションの住民との連携のしかたが難しいことです。
- ・町会に高齢者が多く、若い人が町会活動に参加しないことです。
- ・旧住民と新住民とのつながりがないので、地域コミュニティがとれないことです。
- ・若い人も健康な人も危機意識が薄いことです。
- ・地域内の人々が、ふれあう機会が少ないことです。
- ・高齢化の進行と共に町会の人口が減少していることです。
- ・困ったことを気軽に話せる場所や支えて欲しいと訴えられる場所がないことです。
- ・町会の役員になり手がないことです。
- ・アパート、マンションへ転入して来た住民に対して、どの様に町会へ入会してもらい、どの様に町会活動に参加してもらうのかとのことです。

- ・安心して生活することができないことです。
- ・町会長と民生児童委員の立場の違いを理解した上で、対応しないと個人情報等の問題もあり難しくなることです。
- ・地域、町会行事等に魅力を感じて参加できないことです。
- ・生活困窮者への見守りと支援の輪をどのように進めていくのがよいのかということです。
- ・お互いにプライバシーを気にし過ぎて情報が進まないことです。
- ・町会が新しい課題部分まで入り込めないため情報が不足していることです。
- ・旧住民と新住民が混在し、新住民が町会活動への参加に反対していることです。
- ・課題解決に対応できる関係者作りが難しいことです。
- ・安心ファイルを作りたいが、旧住民とアパート・マンション等に住む住民が混在し意見統一が難しいことです。
- ・町会未加入世帯への加入をどのようにしたらよいのかということです。
- ・見守り安心ネットワークを多くの地域住民に協力してもらえないことです。
- ・県住や市住の建設が進まないため、新規入居が無く、高齢化により役員の成りてがないことです。
- ・仕事でほとんど不在で、その上、自分の生活に精一杯の方に、どのように町会福祉活動を進めていけばよいのかということです。
- ・公共交通機関が不足しの充実が必要です。
- ・高齢化と共に昼間の時間帯の人手不足が深刻です。
- ・市営住宅があり、コミュニケーションを取る事が難しいです。
- ・大きな町会で、いろいろな方が住み、世代も様々なため意見集約が難しいことです。
- ・個人主義から地域の支援へと意識改革を持ってもらえないことです。
- ・ボランティア精神が欠け、地域の皆がふれあう気持ちが不足していることです。
- ・リーダーシップを発揮し、地域づくり活動を推進する人がいないことです。
- ・隣組のつながりが不足し、助け合いが生まれてこないことです。
- ・お隣が離れていて、一人暮らし高齢者との交流があまりないことです。
- ・個人情報をごどのように対処したらよいのかということです。
- ・周囲に迷惑を掛けたくないという気持ちがあり、助け合いが進まないということです。
- ・古い町会で高齢化が進み、そして若い人が県外に出ている家も多く、なかなか町内がまとまる事が難しいことです。
- ・近隣の助け合いの精神的が欠如していることです。
- ・町会や福祉関係者並びに団体の思いと地域住民の意識にずれがあることです。
- ・従来の構成団体が無くなり、新たな絆をどう構築したらよいのかということです。
- ・新しく居住した方は、町会活動に無関心ことです。
- ・高齢化が進行しているため役員のなりてがないことです。
- ・地域づくりを進めているが、隣近所でも顔見知りになれないことです。
- ・若い世代が、なかなか地域とつながりをもとうとしないことです。
- ・隣組や隣近所との関わりが無く、付き合いもない方々が多いことです。
- ・医療機関へ通院するにも食料品等を購入するにも、地域に交通手段がないことです。
- ・個人情報の取扱に振り回されていることです。
- ・助けて欲しい方が、素直に支援を求めることができないことです。
- ・個人情報を集約管理していても何処が漏れないか心配です。
- ・災害が発生した時に、どう行動すればよいのか分らないです。
- ・プライバシーを把握しても思いやりが不足しているので心配である。
- ・独居高齢者宅等の除雪で困っているが、支援する方がいないことです。
- ・公共交通機関が不足しているので困っています。
- ・若い人が地域活動に参加しないので困っています。
- ・個人情報重視され隣組関係が希薄化していることが課題です。
- ・通院、買物、ゴミだしを手助けするボランティアが不足していることです。
- ・町会長が先立って、隣組単位ごとに情報を収集することが不足しています。
- ・ひとり暮らしの方を近隣の方の誰が支援するか体制が決まらないことです。
- ・ひとり暮らし高齢者が多いためいろいろな行事を計画しても参加が集まらないことです。
- ・県営住宅、市営住宅、持家と三種類の住環境に分かれ、高齢者も多く、若者が安心して子育て出来る環境が整わないことです。
- ・市営住宅に若者が入居しやすい環境整備が必要です。
- ・以前は、小さな地域であったが、急激な人口増加により名前も顔も変わらなくなっていることです。
- ・町会住民が一堂に集まれる場所もなく、足を運んでくれる魅力的な催しも、仕組みもない

ことです。

- ・大きな町会の為、町会全体の活用が難しいことです。
- ・若い世代が減少する中で高齢者世帯が増加するとともに隣近所の関係が希薄化していることです。
- ・町会内のコミュニケーションが不足していることです。
- ・住民の町会行事への無関心があると思います。
- ・地域住民の方々の考え方に相違がありどのように進めていけば良いのか迷っています。
- ・少子高齢化が進行し限界集落になりつつあることです。
- ・町会の行事に参加しボランティア等の認識を持って行動する事が難しいことです。
- ・以前は、自営業(農業)が多く、サラリーマンは、ほとんどいなかったもので、近所の人が家にいましたが、今は、サラリーマンが多く顔を合わせる機会もなくなったことです。

5 地域の課題を解決し、住み慣れた地域で生活をするためには、何が必要だと思いますか。
(今後のことについて、課題解決にないが必要なものか)

- ・実践活動を積み重ねていくことが必要です。
- ・人間関係が希薄化しているので、人と人とのつながりがを深めることが必要です。
- ・地域住民の意識の持ち方を変えることが必要です。
- ・コミュニケーションの取り方を検討することが必要です。
- ・話し合いの場をより多く持つことが必要です。
- ・お互いに支え合っていることを実感することが必要です。
- ・個々の意識を持ち続けることが必要です。
- ・お互い様に助け合う行動が必要で。
- ・仲間づくりが必要で。
- ・地域コミュニティの形成が必要で。
- ・何でも話し合える人間関係を作ることが必要で。
- ・気軽に人々が、ふれ合える機会を増やす場づくりが必要で。
- ・隣組長制度を充実させることです。
- ・お楽しみ会などのおしゃべりの中から困りごとを把握したりて、情報を共有する機会が必要で。
- ・地域課題を自分の事として話し合う機会が必要で。
- ・向こう三軒両隣の精神で助け合う意識づくりを行うことです。
- ・向こう三軒両隣の精神で連帯感が必要で。
- ・高齢化も進み地域の福祉課題は、町会が支えていくことが、一番で。
- ・大勢の方が気軽に参加できる機会や場づくりが必要だと思います。
- ・住民から問題を提起していただく話し合いの場が必要で。
- ・旧住民と新住民とのお互いを知る機会を作ることが必要で。
- ・財源が必要で。
- ・住みよい生活環境を作ることです。
- ・高齢者と共に若い人達が住みたいと思える地域づくりをすることが必要で。
- ・地域医療の体制が必要で。
- ・地域の人たちで信頼関係をつくることです。
- ・隣近所や町会役員と民生児童委員が町の中を知ることが大切です。
- ・地域住民が意識を変革して、行事へ積極的に参加してもらふことです。
- ・先頭に立つ方のボランティア精神が必要で。
- ・地域住民の参加意識が必要で。
- ・一人ひとりが、町会活動に関心を持つことです。
- ・助け合いの町をつくろうとする意識の改革が必要で。
- ・個人情報を守りすぎているので、オープンな部分が必要で。
- ・介護予防教室等を行なうことが必要である。
- ・町会全体のネットワーク体制づくりが必要で。
- ・個人情報にネックになっているので、理解が大切だと思います。
- ・お茶飲み話から気軽な付き合いを積み重ねることが必要で。
- ・組長、民生児童委員、町会長が連携することです。
- ・隣近所との助け合いが、不可欠で。
- ・住民意識調査が必要で。
- ・ふれあいの集いなどの行事の効率的な開催が必要で。
- ・地域の人と人との顔が見える関係をつくる必要があります。
- ・町会運営に町会の方々には、関心を持ってもらう必要があります。

- ・若い人達とのつながりが必要だと思います。
- ・個人情報を知られたくない方が多いので、地域の中で共有できる情報を選択し、全員で話し合うことです。
- ・一人暮らし高齢者から情報を収集する方法を検討することです。
- ・相手への気配りや思いやりを育むため、日常のさりげないふれ合いやお茶会等が必要だと思います。
- ・助け合いの仕組み作りが必要です。
- ・周りに信頼できるひとがいて、相談・支援、手助けする環境整備が必要です。
- ・地域住民の身近なつながりが必要です。
- ・ボランティアをしてくれる人を集めることです。
- ・高齢者が多く、組の役員の成り手もないので、高齢者にも出来ることは自分で協力してもらうことが必要です。
- ・隣組で支え合えると良いが、お互いに忙しいので、組の集まりの折に情報交換できると良いと思います。
- ・いろいろな方と情報交換をする機会が必要です。
- ・今後の地域を担う若者が、興味を持てる地域づくりが必要です。
- ・気軽に声を掛けてくれる友人様な人が必要です。
- ・町会の方々とのコミュニケーションが必要です。
- ・町会公民館活動必要です。
- ・高齢者が何に困っているのか、把握していないので、アンケート調査が必要です。

6 地域の課題が、地域で解決できない理由はなぜだと思いますか。

(問題解決ができない理由)

- ・地域が広範囲なことです。
- ・町会が大きくなかなかまとまらないことです。
- ・個人主義により輪にならないことです。
- ・先に立つ人がいないことです。
- ・皆が、自分の生活が忙しく、他の人への関心が薄いことです。
- ・高齢化社会に対する危機感が不足していることです。
- ・町会のまとまりが出来ていないことです。
- ・アパート、マンションが多く、転勤の方もボランティア活動に参加しないしてくれないことです。
- ・隣近所、隣組のコミュニケーションが希薄化しています。
- ・住民相互の情報が、個人情報の壁で共有できません。
- ・福祉関係者と町会関係者との連携が不十分です。
- ・町会長の任期もあり、継続して問題の解決を責任を持ってできません。
- ・地域で連帯して解決しようとする気持ちが掛かっています。
- ・自分は他人の世話になりたくないという気持ちがあることです。
- ・包括支援センターと福祉計画課が連携して、情報を町会に下ろし、どこまで、包括が関わるのか。そして、民生児童委員が持つ地域の情報との連携をどうするのかです。
- ・いろいろな立場の方がいて、話し合っても課題解決につながらないです。
- ・ボランティアやお助け隊等の人達が育つ土壌が出来ていないです。
- ・大きな町会で、いろいろな意見を持つ方がいることと転勤者も多く、若いひとの協力が無いことです。
- ・個人情報壁となっていることです。
- ・地域の合意が出来る土壌が、現在できていないです。
- ・地域の絆が希薄になっています。
- ・個人主義が強いため、課題解決が進まないことです。
- ・地域づくりを推進するリーダーが不足していることです。
- ・率先して取り組むリーダーシップがないことです。
- ・町会役員が問題意識を持っていないことです。
- ・隣近所でも顔を合わせる機会がないことです。
- ・昔の社会の仕組みと現在とでは違いがあり、個人個人の考えがあるので難しいです。
- ・行政との連携が崩れているので、すぐやる課方式の行政サービスがないことです。
- ・生活様式の多様化に伴い生活時間等が変ってきていることです。
- ・地域特有の事情があり、地域づくりの継続が難しいことです。
- ・地域住民の意識にも差があり、関わりを持ちたがらない人が多いことです。
- ・町会役員の任期が一年のため、じっくりと計画を実行する事が出来ません。

- ・ボランティア精神が希薄化しコミュニケーションが不足しています。
- ・閉鎖的な地域のため、なかなかコミュニケーションが進まないです。
- ・県営住宅や市営住宅の方が協力してくれないので、進まないです。
- ・プライバシー保護、個人情報守秘義務があり、大事な情報が伝わらないことです。
- ・町会が広範囲で、人口も多くまとまりがないので、関心を持ってくれる方が少ないです。
- ・隣近所のつながりが薄れ、お互いに理解し連携が出来ないです。
- ・ボランティアをしてくれる人が高齢で、働いている方は、ボランティアが出来ないことです。
- ・自分には関係ない、大丈夫と思っている人が多いことです。
- ・ひとり暮らし高齢者が多いことと、人と接すことを嫌いな人も多いことです。
- ・個人情報を保護するため、町会長や民生児童委員が知りえた情報を教えることができないことです。
- ・新旧住民同士がなかなか融合せず、まとまりが欠けています。
- ・個人情報が壁となって信頼関係が築けないです。
- ・町会役員のなりてがないため、順番で回すことで、最低限度仕事しかできないです。
- ・地域住民の関心が低いので、継続できる体制づくりが進まないことです。